

学校再開に際して

新型コロナウイルス感染症によるパンデミック対策のために始まった3月の一斉休校、そして、緊急事態宣言による登校禁止で長い休校が続きました。その間、保護者の皆様には在宅勤務でお忙しい日々、また医療の最前線で御尽力くださる中など、様々な場面で大変な思いをなさっていらっしゃる 것과拝察し、心ひとつにお祈り申し上げておりました。この3か月間に互い、御家族の皆様に賜ったたくさんの御心遣い・御協力に、感謝の思いでいっぱいです。本当にどうも有難うございます。

私ども教職員一同、お嬢様とお会いできる日を心待ちにしておりました。その一方、御家庭での生活が長く続き、学校での学びやお友達との出会い・再会が楽しみな反面、お嬢様は、今後のスケジュールやテストへの心配などを抱いていらっしゃるかもしれません。でも、まずは、学校生活を存分にエンジョイするというスタンスで、今回の学校再開を迎えることを大切にしていきたいと存じます。

学校再開に際し、文部科学省の「学校の新しい生活様式」に則り、感染対策のための「ソーシャル・ディスタンス」の維持や消毒の徹底等のために、1日に1学年を午前・午後に分けての分散登校を実施するため、1学年が一堂に会することは叶いませんが、感染第2波・第3波に備えての対策を講じつつ、徐々に通常登校を目指し、お嬢様方のエネルギーが響き活気溢れる学校の日常を取り戻せるように尽力する所存です。

学校再開までの学びの手段として、Googleドライブでの課題配信、そしてGoogle Classroomによる双方向のやり取りを活用して参りました。リアルタイムで双方向の授業を行う「同期型」を活用して実際の授業に近い形での運用も検討致しましたが、御家庭のデバイス環境、お嬢様方が御自身のスケジュールに合わせて学んでいただけること、また、通信環境への負荷が小さいこと等を考慮し、「非同期型」の使用を選択致しました。在宅勤務でのデバイスの共有、通信量増加等で、御迷惑をお掛け致しましたこと、お詫び申し上げます。

学校再開後も、Google Classroomでの授業配信は継続し、このオンライン授業と並行しての学校生活を目指します。

対面によるコミュニケーションが、本来の学校の本領発揮の場ですが、

- ・ 校長発信の課題に就いて、中等科生が「コロナ時代のニュートン」を髣髴とさせるレポートを仕上げ、主体的な学びの可能性を示してくれたこと
- ・ 総務メンバーが、个性的かつ心温まるブログをHPで発信して全校生徒や教職員を励ましてくれたこと
- ・ 「教員からのメッセージ」に回答して高3生が「教員へのメッセージ動画」を即座に作成し、教員に莫大なエネルギーを与えてくれたこと

等、今回の休校中、学びのパラダイム・チェンジを想起させる邂逅に恵まれたことは、嬉しいことでした。

学校の学びの中で、情報・知識の吸収は大切なことですが、コロナ禍の今、そしてポストコロナ時代には、情報・知識の運用による、課題発見力・課題解決力が物を言うのだ！という発想を心に留めて、主体的に学ぶ姿勢を培っていきたいと念じています。そして、他者の興味や、他者が大切にしているものに思いを馳せる「想像力」を養い、他者を受け入れる寛容さも更に培ってほしいと切望しています。

緊急事態宣言が解除されても、今回の災禍は「継続中」であり、私たちは、まだ有事を生きていることに変わりはない状況です。高3生のお嬢様方にとっては、日程・出題範囲等が未だ明確でなく混迷する大学入試等、不安材料もあるかと存じますが、今迄の積み重ねを信じて、情報・知識という基盤を盤石に築き、それをもとに、ある時は、それを壊して再構築しながら新たな課題にチャレンジする「型破り」な発想も身につけて、不測の事態を乗り越える底力を涵養してほしいと願っています。

最後になりましたが、4 月以来開催を見合わせてきた光塩祭につきましては、社会状況を鑑み、三密を避けてオンライン等を活用しての今学期中(7 月をめぐりに公開開始)の実施の可能性を実行委員会メンバーとも相談しつつ検討して参ります。例年通りの開催が叶わないこと、誠に申し訳なく存じます。お嬢様方のアイディア・発想力・構想力に期待し、今年ならではの特別な光塩祭の実現を目指す所存です。保護者の皆様、例年に増しての熱い応援をお願い申し上げます。

学校再開に際し、お嬢様方、御家族の皆様の御健康をお祈り致しております。

今後とも、保護者の皆様の御協力・御理解を賜りたく、何卒宜しくお願い申し上げます。